

第30回

学生と教職員の交流の場

学内と社会を結ぶ交流の場

琉大21世紀フォーラム



日時

平成21年 6月19日(金)
17:15～18:15

場所

琉球大学法文学部棟2階201教室

話題：「土砂災害の合理的な防止・軽減対策をめざして」～地域連携の重要性～
発表者：宜保 清一（琉球大学農学部教授、社会連携担当副学長）

土砂災害には自然的災害と人的災害があり、多くの住民が巻き添えに遭うことに特徴があります。被災地では、住民は、大切な家族や永年に築き上げた財産を失うだけでなく、破壊された道路、電気、水道の復旧まで、不自由・不安な生活を送ることになります。

2006年6月10日に沖縄県中城村で発生した安里地すべりは、頭部の村道を約100m、中腹の県道を約140mにわたって寸断しました。6月12日夜に頭部右翼側で発生した二次すべりにより地すべり移動体の末端部が流動化し、流動土砂が民家に迫り、一時はかなり緊迫した状態となりました。対策検討委員会（社）日本地すべり学会九州支部）の迅速な対応により人的被害は免れたものの、家屋の損壊、道路寸断による交通網の麻痺、住民（49世帯、174人）の避難生活等、地域住民に与えた影響は計り知れません。

地域住民の安全・安心のために、地すべり災害の未然防止・災害時の被害軽減が求められています。「災害が起きてから対応する」復旧型対策から「災害が起きることを想定して整備する」予防型対策に改めるべきであると考えます。地すべり災害の危険性を研究成果に基づいて的確に評価・分析し、低コストで合理的な予防型防止対策を講じること、地域の市民と行政が一体となり、連携して防災力を高めることが重要です。



宜保 清一
琉球大学農学部教授
社会連携担当副学長

発表者 プロフィール

略歴

- 1989年 2月 琉球大学農学部教授
- 2000年11月 琉球大学附属図書館長（～2002年10月）
- 2005年 4月 琉球大学農学部長（～2009年3月）
- 2006年 4月 日本学術会議連携会員（～2011年9月）
- 2007年 4月 （社）日本地すべり学会九州支部長（～現在）
- 2009年 4月 琉球大学副学長（社会連携担当）
- （社）日本地すべり学会学術賞受賞（平成10年度）
- （社）農業土木学会（現・農業農村工学会）学術賞受賞（平成17年度）
- （社）日本地すべり学会理事

主催：琉球大学生涯学習教育研究センター

問合先：琉球大学学術国際部地域連携推進課 TEL：098-895-8019

（事前に参加登録する必要はありません）



●今後のフォーラム（予定）●

第31回 講師：秋永 孝義(琉球大学農学部教授)
 話題：「野菜が空を飛ぶ」
 日時：2009年 7月 3日（金） 17：15～18：15
 場所：琉球大学法文学部新棟2階215教室

第32回 講師：儀間 光男（浦添市長）
 話題：「てだこ市民大学への期待（仮題）」
 日時：2009年 8月21日（金） 17：15～18：15
 場所：琉球大学法文学部新棟2階215教室

※なお、学外来訪者において臨時フォーラムを開催することがあります。

建物配置図



法文学部棟2階

